



余市町

よいち



士別市

しべつ



湧別町

ゆうべつ

別海町

べっかい

幕別町

まくべつ

八雲町

やくも



北海道の **農業** に就く

SENPAI REPORT 2021

農業の最前線で活躍する
先輩たちの声をまとめました。



道南エリア 八雲町



牧場＋観光で地域に貢献したい

高校時代から酪農関係の仕事を志し経験を積んできた彼が、新規就農を目指して辿り着いた地は北海道酪農の発祥地とされる八雲町。牧場経営者として背負う重圧、そして思い描く壮大な夢に迫ります。

プロフィール

名前 廣島 孝祐 年齢 30

前職 食肉加工業・観光牧場

以前の居住地 江別市



新規就業を考えたきっかけから実行までのプロセス

農業高校から酪農学園大学へ進学▶十勝で酪農ヘルパーとして働く▶食肉加工業と観光牧場を運営する企業に転職▶本格的に新規就農を目指して道東の研修牧場へ▶八雲町の研修牧場へ転籍▶紹介により後継者のいない酪農家から牛舎を購入

現在の仕事内容

2020年元日に酪農家として新規就農し、2年近く1日も休まず牛の世話をしてきました。その中で経営者としての重圧と責任を痛感しています。上司からの指示を受ける従業員と違い、経営者は誰からも指図されず完全に自由ですが、牛たちの生命を預かる責任もすべて自分。1歩間違えばすべてを失うリスクを背負いながら試行錯誤する毎日です。



仕事のやりがいや魅力

牛をしっかりと管理して育ててあげれば乳量が増えて、頑張れば頑張るほどお金になる。言葉では簡単ですが、生き物が相手なので教科書通りにいかないことばかりです。道東



と道南では気候が違ふし同じやり方で大丈夫という訳でもない。その中で最大のやりがいは「挑戦ができる」ということ。すべて自分の判断次第で何が正解かわからない。でも、それをコツコツと積み重ねて自分で答え合わせをした結果、正解らしきものがわかってくる。そして収入が増える。それが、この仕事の面白さでもあり難しさでもあると思います。

現在の暮らしや地域との交流

八雲町には総合病院がありスーパーも多くて生活に困りません。道内7ヶ所くらいの酪農地帯に行きましたが、こんなに便利な場所はなかなかありませんでした。街が近くて、海も山もある。眺めも良く、とても恵まれた環境だと思います。酪農家の大先輩たちも気にかけてくださいますし、この町で新規就農できて本当に良かったと思っています。

今後の目標

夢は観光牧場をやることです。僕自身がまったく休めず遊びにもいけない状況で考えたのが、自分の遊び場は自分で作るということ。僕は高校時代に馬術部だったので馬に乗りたい。美味しいアイスクリームやチーズも食べたい。見晴らしの良いカフェでランチがしたい。夜は星を見ながら BBQ をしたい。冬はスノーモービルで遊びたい。温泉もあったら最高。それを全部叶えられるのが観光牧場だと思ったんです。自分が満足するものを作れたら、きっと皆さんも楽しんでくれるんじゃないかと。2030年以降、近くに新幹線の駅もできますし、観光資源として八雲町に恩返しできればと思います。



これから新規就業を目指す方へ

まずは酪農を1回体験してみて自分に向いているかどうか判断するのが良いと思います。新規就農は非常にリスクの高いことなので慎重に。僕の牧場でも体験を受け入れていますし、僕と一緒に観光牧場を作りたいという方からのご連絡お待ちしております。

廣島牧場

TEL : 090-5987-5328

住所 : 〒049-3126

北海道二海郡八雲町大新 285

八雲町役場 政策推進課

TEL : 0137-62-2300

<https://www.town.yakumo.lg.jp/soshiki/seisaku/content0589.html>



道央エリア
余市町



二人三脚で営む個性派ワイナリー

共に関東出身で北海道大学へ進学し出会ったご夫妻。ワインという共通の趣味は、いつしかワイナリーという大きな夢に。決して良いことばかりでない移住&起業のリアルを赤裸々に語ってくれました。

プロフィール

名前 杉山 哲哉 / 彩 年齢 41/37

前職 不動産業 / 教員

以前の居住地 東京都



新規就業を考えたきっかけから実行までのプロセス

国産ワインに傾倒し、産地やワイナリーを巡るようになる▶ワイナリーを作ることを目指して候補地を探しながら、土地取得や研修期間に必要な資金を貯める▶余市町の気候に惚れ込み、役場の農業委員会へ就農相談に行く▶研修制度や研修先を紹介してもらい町内のワイナリーで1年間研修▶土地を購入

現在の仕事内容

就農2年目に(株)YUIとしてワイナリーを法人化し、3年目の2021年に醸造免許を取得。domaineyui(ドメーヌユイ)のブランドでぶどうの栽培からワイン製造、販売までを一貫して行っています。まさに多忙を極めていますが、東京で組織の一員として働く仕事の限界や、家と職場の往復による日々の疲弊を考えると後悔はありません。



仕事のやりがいや魅力

自然が相手なので思い通りにならないことも多いですが、1年を通して自分たちが好きなワイン作りに没頭できること。そして、苦勞して作ったワインを飲んだ方に喜んでいただけたところです。



現在の暮らしや地域との交流

余市 IC が開通して小樽や札幌が近くなり、ロードサイドにホームセンターなども開店し便利になりました。移住当初は、田舎ならではの人間関係の距離感に戸惑うことも多かったですが、近所の農家さんから採れたての野菜をいただいたり、物々交換できたりするのは助かっています。娘が3人いて、三女は余市生まれですが、上の2人は最初の頃「東京に帰りたい」と泣いていました。でも今は自然が豊かで食べ物が美味しいので余市が好きと言っています。



今後の目標

とにかく毎日が忙しいので、もう少し余裕を持てるようになりたいです。今はアパート住まいですが、畑とワイナリーのそばに一軒家を建てる予定で、そこでは家庭菜園を作ったり、家畜を飼ったり、田舎暮らしを楽しみたいと思っています。



これから新規就業を目指す方へ

人間関係には都会以上に気を使う場合もあります。都会の人間関係に疲れたという理由だけで安易に移住するのは考えものです。雑誌やテレビで目にするのと、実際に住むのとでは違う部分も多いので、移住候補地での現地調査は入念に行ってください。また、移住して起業するつもりなら、副業を持っておくか貧乏耐性をつけておいた方が良いでしょう。そういう厳しさをすべて加味しても、「やっぱりやりたい」と思える方はぜひ頑張ってください！

インフォメーション

domaineyui (ドメーヌユイ)

住所：046-0002

北海道余市町登町 812

<http://domaineyui.jp/>

余市町役場 総務部企画政策課 企画政策グループ

TEL：0135-21-2117

<https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/sangyou/izyuu-hp/index.html>



十勝エリア
幕別町



農家になるため虎視眈々と人生設計

会社員時代に出向先として訪れた地で、まさかの退職と新規就農。あくなき研究心に偶然まで味方につけ、ついに学生時代からの大きな夢を叶えた先輩就農者のフロンティアスピリッツに迫ります。

プロフィール

名前 井上 洋平 年齢 30

前職 流通業

以前の居住地 豊頃町



新規就業を考えたきっかけから実行までのプロセス

東京出身で東京農大に進学▶卒業後は北海道に自社農場を持つ流通系企業に就職▶幕別町の農場へ出向▶農家になる夢を叶えるために退職し、そのまま幕別町で研修を経て新規就農

現在の仕事内容

退職してから4年間の研修期間を経て、幕別町の忠類地区にて2019年に新規就農しました。1年目はこの地区の特産品であるゆり根の栽培から



始めましたが、ゆり根は収穫まで6年も掛かるので、2年目にはかぼちゃを加えて、3年目となる今年から小豆、デントコーンと増やして4品目を扱っています。安定した経営を目指して一歩ずつですが、いまだにお世話になっている研修時代の先輩農家さんに教えてもらいながら挑戦しています。

仕事のやりがいや魅力

朝日が昇り、夕方に日が沈むという自然の流れのまま過ごすのが心地良くて、大学時代からの夢だった北海道での農家を目指してきました。優しいはずの自然が時に大きな災害をもたらすこともあるのが農業の怖さで、反対に質の良い農作物が育ってくれたときの喜びが農業の醍醐味です。1年ごとに農作物が増えるだけではなく、土壌の改良などいままで取り組めなかったことに挑戦していける感覚も楽しいです。



現在の暮らしや地域との交流

大学で農業の楽しさを学び、就職先は流通用に野菜づくりをする会社。そこで現在の住み処となる幕別町の農家へ出向。縁もまったくくない北海道でしたが、住んでみると人間はどこでも生きていけると感じます。研修中も町内会のイベントのお手伝いに行ったりしていたので、皆さん自然と受け入れてくれました。いまでは農協の青年部で監事も務めています。

今後の目標

農家には常に情報の収集と先を見据えた判断が必要となります。そのためには農家同士での情報交換やさまざまな技術と経営も学び、それを自分自身のやりたいことと照ら



し合わせていかななくてははいけません。そうすることで農家自身も、取引先も、ご家庭でも安心できる農作物を作る農家になっていきたいです。また他の農家の方と一緒に町の皆さんと交流できるような機会も作っていただけたらと思っています。

これから新規就業を目指す方へ

私の場合は前職からのつながりがあり、幕別町に住むことになりましたが、それでも最初是不慣れで知らない土地にストレスを感じました。でも、落ち着いてみれば人と触れ合える時間もでき、自分の時間も作れるので心配ありません。住み慣れた場所を離れる新規就農は、経験がないことや結果がわからないことばかりで不安になりますが、思い立ったが吉日の気持ちで挑戦してみてください。

インフォメーション

幕別町農業振興公社 農業担い手支援センター内

TEL : 0155-57-2711

0155-57-2712

<https://www.makubetsu-nsk.com/03mfa.html>



道東エリア
別海町



失敗から学ぶことが必ず成功につながる

貿易業で一度起業し、サラリーマンを経て、2度目の起業としてまったく畑違いの酪農を選んだ先輩就農者。数多くの失敗から学んだ10年間の酪農へのチャレンジを振り返っていただきました。

プロフィール

名前 平山 辰男 年齢 45

前職 貿易業

以前の居住地 東京都



新規就業を考えたきっかけから実行までのプロセス

2度目の起業を考えていた時期に都内の就業フェアに軽い気持ちで参加▶たまたま座った別海町ブースで研修牧場の場長のプレゼンが心に刺さる▶検討や家族の理解を得るために1年を費やす▶牧場で作業員として働きながら酪農経験を積む▶別海町の酪農研修牧場で1年間の研修▶ついに牧場を手に入れる

現在の仕事内容

乳牛専門の牧場を経営し、もう10年になります。牛は大事に育てれば返してくれるという思いから、テーマは「牛にやさしい経営」です。牛にストレスのない環境づくり、良い餌となる草を作るための土作りなど、牛のためになることは何でもチャレンジしています。失敗することも多いですが、その失敗が必ず飛躍につながると信じています。



仕事のやりがいや魅力

一番のやりがいは、頑張れば結果につながる仕事というところだと思います。独立してから最初の数年は失敗が多くて散々でした。研修を経て、自分では何でもできるような気になっていたのですが、作業に時間がかかってしまったり、生き物や自然が相手なので思い通りにいかなかったりです。そうした失敗と成功を繰り返して、ようやく少し安定してきたところです。



現在の暮らしや地域との交流

2年前に一軒家を建て、子供も増えて、犬は3匹飼っています。東京にいたら考えられないほど恵まれた生活かもしれません。これまで困った時には、農協や周囲の酪農家、研修先の先輩たちからいつも助けてもらいました。これからはその恩返しもしていかなくてはと思っています。

今後の目標

家族が継承したくなるような魅力がある、持続可能な酪農を目指します。子供たちもちょっとずつ仕事を手伝ってくれるようになってきたので、次世代につなげられるような牧場にしていきたいです。



これから新規就業を目指す方へ

独立や開業などに興味がある方は、一次産業に向いていると思います。また、家族との時間を大切に考えている方にもおすすめします。いきなり独立ができる業界ではないですが、離農される方が偶然いて、タイミングが良ければ就農することもできます。気になることがあれば、まずは町役場に相談してみましよう。別海町には酪農ヘルパーという制度もあり、酪農家が休みたい時に利用することができます。今は業界自体が変革期を迎えています。興味がある方は、見学だけでも訪ねて来てください。

インフォメーション

平山牧場

<https://www.facebook.com/hirayama.farm/>

別海町役場 農政課 担い手対策担当

TEL : 0153-75-2111

<https://betsukai.jp/sangyo/nougyo/ninaite/>



オホーツクエリア
湧別町



子どもに「おかえり」が言える温かい仕事

酪農への思いが捨てきれず、安定した職を捨てる決断をした先輩就農者。アカデミックな知識とチャレンジ精神あふれる頼もしいルーキーの新規就農後6ヶ月間の軌跡と未来予想図とは？

プロフィール

名前 上原 恒一郎 年齢 37

前職 大学職員

以前の居住地 江別市



新規就業を考えたきっかけから実行までのプロセス

愛媛県の酪農家に生まれる▶北海道江別市の酪農学園大学へ進学▶一度地元へ戻るが北海道で働きたく母校の大学職員に▶酪農家になる夢を諦めきれず「北海道農業担い手育成センター」へ何度も足を運び相談▶湧別町の研修に参加▶短期間で牛舎&一軒家の物件が見つかり新規就農が叶う

現在の仕事内容

2021年4月に新規就農しました。仕事は毎朝4時に起床して餌やりと牛舎の掃除、搾乳。妻と息子、娘2人と一緒に朝食を食べたら、妻



に子供たちを預けて、牛舎の整理や餌の調達などをこなします。午後からまた牛の世話をするのが1日の流れです。

仕事のやりがいや魅力

仕事仲間である乳牛は生き物なので、手間をかけた分だけ関係が濃くなっていき牛からの接し方も日々変わっていくところが面白いです。単純に動物が好きで牛舎の中で猫も飼っています。



最初から一緒に暮らしているから、牛たちも猫を可愛がっていて、いつもベロベロと舐めますが猫も逃げずにじゃれ合っていて、見ていると癒やされます。

現在の暮らしや地域との交流

食べるものには困らないですね。研修期間に多くの農場の方々と知り合えたことで、住み始めたばかりですが気にかけてくれまして、よく様子を伺いにきてくれて野菜などをいただいています。こちらからアドバイスをもらいに行くときも、子供たちにお土産をくれます。出身が愛媛の小さな町だったこともあり、同じように近所のお付き合いがあるのはありがたいです。子供たち同士の友達も増えてきて、遊びにきてくれるようになりました。町には18歳まで医療費がかからない制度があるなど、子育てでは助かることが多いです。

今後の目標

牛の給食センターのような会社から 25 軒くらいの酪農家の方たちと餌の共同配送を受けています。餌づくりも本来は酪農家の仕事ですが、まとめて頼むことでコストカットになるし、自分も別の作業ができるので活用しています。どの業界もそうですが、機械化や大規模化が進み、酪農家同士の共同作業は今後増えていくと予想します。そんな時に大学の職員時代に学んだ牛の飼育管理の専門知識などを、この地域にフィードバックできるようにになりたいと思っています。



これから新規就業を目指す方へ

大学職員を 7 年続けていましたが、どうしても自分の手で酪農の仕事をしてみたい気持ちが強くなりました。一歩踏み出したら自分でもできることがわかり、ますます夢への思いが強くなってしまいました。酪農のいいところとして妻が言っているのが、子供たちが帰ってきたら親がいて「ただいま」と「おかえり」が言い合えるところだと。こんなふうな家族と一緒に歩める暮らしはいかがでしょうか。

湧別町役場 企画財政課未来づくりグループ (上湧別庁舎)

TEL : 01586-2-5862

<https://www.town.yubetsu.lg.jp/administration/life/detail.html?content=50>



道北エリア
士別市



助け合う農業スタイルを確立したい

北海道栗山町の農家（現在は離農）に生まれ、紆余曲折を経て士別市に農業分野の地域起こし協力隊員として着任。研修期間終了後の自らの新規就農とともに、地域連携の新しい農業を模索中。

プロフィール

名前 梅基 瞬 年齢 38

前職 農業法人

以前の居住地 宮城県



新規就業を考えたきっかけから実行までのプロセス

全国展開している農業法人のサポート営業として15年間、全国の農家を飛び回る▶地元北海道に根を下ろし農家として暮らしたいと思い始める▶士別市の「地域おこし協力隊」に応募▶同市初の「農業支援員」として採用され着任

現在の仕事内容

私の住む一帯では、農家同士が助け合って農業をしています。米、小麦、大豆など農協と一体となってさまざまな作物を育てていますので、私は草刈りや種まきから収穫まで、忙しい時期は掛け持ちで学ばせてもらっています。農家の先輩からのアドバイスもあり、自分としてはアスパラガスに取り組みたいと考えているところです。



仕事のやりがいや魅力

そばを育てている方、大豆やビートを育てている方など農家同士が連携して作物の収穫状況などを常日頃から確認しあい、出荷に間に合わないとなればトラクターで駆けつけるなどお互いに助け合いながら、地域全体で農業をしていますので、いきなり独立するよりもいろいろな作物について教えてもらえるのが楽しいです。研修生の身ですが、まったくの素人という訳でもなく、農家さんも信頼していただいたのか、収穫を丸々任されることもあります。



現在の暮らしや地域との交流

研修期間も3年目ですし、最初に教わった指導農家さんが組合の集まりに連れ出してくれたこともあり、今では農家さんだけでなく土別名物のサフォーク羊や肉牛の酪農家さんとも知り合いになりました。町のお祭りなども手伝っており、いつの間にか地域に馴染んでしまった感じでした。

今後の目標

農業は家族経営がほとんどで、高齢化も進んでいるので、もう一歩進んだ組織化は必要だと感じています。私自身が育ててみたい作物もやりながら、他の農家のサポートもできるシステムのようなものを作りたいと思っています。青年部に所属していて、同年代で同じ理想を共有する仲間もできましたので協力して作っていききたいです。

これから新規就業を目指す方へ

地域おこし協力隊の農業支援員は、市としても初めての取り組みでしたので、言わば私はその試金石として農家の皆さんと手探りで仕事を振り合いながら経験を積ませてもらいました。その甲斐あって新たな研修制度もできましたので、農業に就きたいという方はぜひ利用してください。



インフォメーション

士別市 まちなか交流プラザ

「羊のまち 侍・しべつ」

TEL : 0165-26-7353

<http://tesio.net/shibetsu-iju/>

夜道 雪

農業体験インタビュー

北海道出身者として農業を誇りに思います！

北海道の一次産業PR動画に出演している北海道出身のYouTuber/声優の夜道雪さん。撮影中に体験した農業について感想をお聞きしました。

農業を体験した感想

美味しいものが大好きなので農業には興味がありました。憧れていたじゃがいも収穫や牛のお世話を初めて体験できて嬉しかったです。私は乗り物が大好きなのでトラクターにも試乗させていただきましたが、運転席は近未来的でたくさんのレバーがあり、実際の農作業で乗りこなすのは大変そうだと思いました。



農業で働く方々に応援メッセージ

北海道の農業は規模が大きく作業がとても大変だと思います。若い方たちが一人で農業や酪農を学びに全国から研修に来ていることを初めて知り、北海道に憧れている方がたくさんいるのが嬉しかったです。農業で日本の食卓を支えてくださっている皆様を北海道出身者として誇りに思います。

北海道一次産業 PR 動画はコチラから

https://www.youtube.com/playlist?list=PLnH_I7f-5nANibpDxnE3mApQAg5zD5jIw



北海道での新規就業に 関する詳しい情報はこちら



北海道の一次産業に就く

<https://hokkaido-aff.com/>



北海道農業担い手育成センター

TEL : 011-271-2255

<https://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/>